

青森田中学園報

こぶしの花

Kobushi no Hana

青森中央学院大学
青森中央短期大学
青森中央経理専門学校
青森中央文化専門学校
認定こども園
青森中央短期大学附属第一幼稚園
青森中央短期大学附属第二幼稚園
認定こども園
青森中央短期大学附属第三幼稚園
中央文化保育園
浦町保育園



ムハマド・ユヌス博士基調講演
平成23年度就職状況

ポプラ並木
撮影：青森中央短期大学2年 中田 亮

vol.84

目次

特集：

ムハマド・ユヌス博士 基調講演

2

平成23年度就職状況

4

青森中央学院大学

6

- ・花田勝美新学長より学生へのメッセージ
- ・学位記授与式
- ・入学式
- ・国際交流センターより
- ・ゼミ探訪
- ・OB通信

青森中央短期大学

8

- ・旅立ちを迎えて一卒業式・祝賀会
- ・新たな出発一入学式・オリエンテーション
- ・先生の自分史
- ・研究室を訪ねて
- ・読んで欲しいこの1冊
- ・卒業生も活躍しています

附属第一・第二・第三幼稚園 浦町保育園 中央文化保育園

10

- ・行事アルバム
- ・先生達活躍しています
- ・読み聞かせたい一冊の絵本
- ・卒園児頑張っています

青森中央文化専門学校 青森中央経理専門学校

12

- ・卒業証書授与式
- ・入学式・オリエンテーション
- ・自分の未来像
- ・進級者の意気込み
- ・経理発信情報
- ・ファッション通信
- ・おススメ図書
- ・卒業生ピックアップ

新教職員紹介

14

学園共通

16

- ・学園感謝祭&世界一大きな絵
- ・被災地ボランティア
- ・認定こども園設置
- ・FRIENDLY WINDOW から

インフォメーション

18

特集

2006年 ノーベル平和賞受賞

ムハマド・ユヌス博士 基調講演

3月12日、青森中央学院大学は2006年ノーベル平和賞受賞者ムハマド・ユヌス博士をお招きし、「ソーシャルビジネスによる被災地復興と地域活性化」と題したユヌス博士の基調講演会を開催しました。

ユヌス博士の講演の後、青森県内におけるコミュニティビジネスの事例発表（特定非営利活動法人サンネット青森、特定非営利活動法人あおもりNPOサポートセンター）と青森中央学院大学が地域貢献の一環として推進しているソーシャルビジネスについての発表が行われ、今後の震災復興と地域活性化の活動に関して、ユヌス博士から実効性のあるアドバイスを頂きました。

当日は、青森県知事、青森市副市長、青森商工会議所会頭代理をはじめ、地元経済を担うリーダーの方々、学生、一般市民の方々、約700人が会場に足を運んでくださいました。

ムハマド・ユヌス博士プロフィール

1940年、バングラデシュ・チッタゴン生まれ。チッタゴン・カレッジとダッカ大学を卒業後、チッタゴン・カレッジの経済学講師を経て、米ヴァンダービルト大学で経済学博士号を取得。

1983年、グラミン銀行を創設。マイクロクレジット（無担保小額融資）で農村部の貧しい人々の自立を支援する手法を全国で展開し、同国の貧困救済に大きく貢献した。これが多くの国際機関やNGOなどの支援活動の模範となり、現在では全世界で1億人以上がマイクロクレジットなどの恩恵を受けているといわれている。

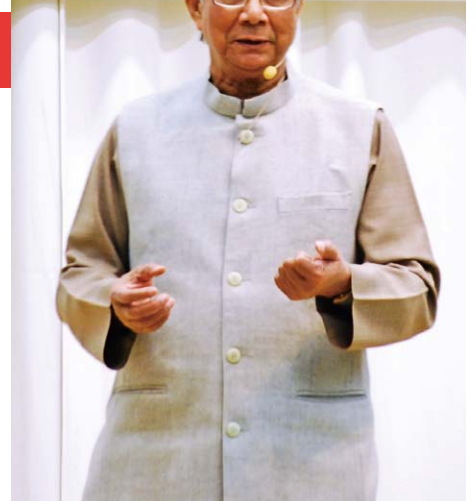
2006年、ノーベル平和賞受賞。

各方面からの貧困撲滅を目指すユヌス博士とグラミン銀行は、貧しい人々の住宅、教育、医療などを支援するサービスを次々と開発するのみならず、多くのグラミン関連企業を創設して、地場産業の振興、携帯電話やインターネットの普及、再生可能エネルギーの利用なども推進している。そのいくつかは、彼の提唱する「ソーシャルビジネス」の形で運営されている。



ムハマド・ユヌス博士 基調講演要旨

ユヌス博士より、貧困救済や社会問題の解消の経験を踏まえた、被災地の復興・活性化のための貴重なご教示を頂きました。ここでは、ユヌス博士の講演よりいくつかのポイントとなる箇所を抜粋して、皆様に紹介します。



人間の弾力性、柔軟性は素晴らしいものです。津波、洪水やサイクロン(台風)など、自然災害に遭った時、ゼロからスタートしなければなりません。人間は後ろ向きに諦めるという選択肢をとることなく、決して屈服することはありません。問題となる状況を克服していくには、問題の大きさを優先するよりも、小さいことから始めることが大切です。

1970年代、ユヌス博士が大学で教えていた頃、バングラデシュでは飢饉がひどく、飢えに苦しむ人たちがたくさんいました。博士は大学のキャンパスを出て農村にいた時に、村の人たちの何か助けに出来ないだろうかと考えたのです。たくさんの人を救えなくとも、せめて1人だけでも救えないかと博士は考えました。そのプロセスで、農村で高い利子でお金を借りている人たち42人に会いました。この人たちは借りている27米ドルのために苦勞していたのです。ユヌス博士は高利貸にお金を返せば、高利貸は彼らを追い回すことはなく、自由になると思い、財布から27ドルを出してやりました。こんな小さなお金で人が幸せになるのであれば、もっとこういったことをやりたい、もっと幸せをつくりたいと思い、そこで、ユヌス博士は貧しい人たちに非常に低い利子で、もしくは無利子でお金を貸すグラミン銀行を創設しました。貧しい人がいることは社会制度の機能不全が原因ですので、貧困救済として欠陥のある制度を改めるべく貧困者への小口融資の制度を設けました。

高利貸が不当に利益をむさぼる仕組みは、社会が拝金主義、金中心主義に支配されていることを示す一例です。私、「me」という自己中心的な考え方、お金を作ることは自分のため、というような概念が行き渡ってしまいましたが、人間は多面的な存在で、絶えずお金を作ることだけが人間の目的ではありません。博士自身はビジネスとして50の事業会社を作り、次々と企業を生み出していきましたが、いかなる会社の株主でもありません。貧困、ヘルスケア、住宅、雇用、それぞれの問題解決のために作られている会社に、ユヌス博士はソーシャルビジネスという名前を名付けました。「私」ではなく、「他の人」のためのビジネス、社会のためのビジネスというのがソーシャルビジネスです。利益の最大化を目指す通常のビジネスとは異なり、ソーシャルビジネスの特徴は、特定の問題を解決するためにお金をつぎ込んだら、そのお金が返ってくることで、会社が持続可能な形で問題を解決していくことのできる還元型・循環型の経営形態を持つ点です。よって、会社では株主たちが利益を受け取らないという、無配当の企業形態をとることになります。

世界にはいろいろな問題がありますが、創造力やクリエイティブな力を問題解決のために結集させれば、まさしく問題は私たちの前に立ちはだかることなく、解決への道筋を見出すことができます。私たちそれぞれが持つ創造力という素晴らしい資質で世界を創造していくべきです。

ユヌス博士の基調講演会は、青森に住む私たちにとって改めて震災復興と地域活性化の志を共有し、実現していくための新たなスタートになることでしょう。ユヌス博士から頂いた貴重なご教示を今後の震災復興と地域活性化に生かすことによって、青森がさらに世界に発信できる素晴らしい都市になることを願ってやみません。

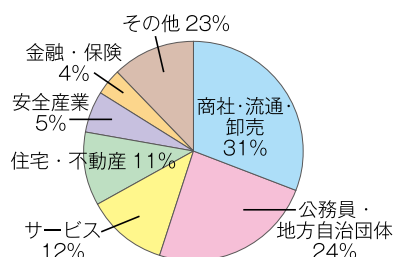
平成23年度就職状況

青森中央学院大学の状況

2012年3月卒業の大学卒就職内定率は、「就職氷河期」と言われた時期を下回る水準が続きました。実際、文部科学および厚生労働両省が3月16日に発表した調査結果では、昨年を上回ったものの80.5%という厳しい内定率でした。このような逆風が吹く中で、本学卒業生は健闘し就職率93.6%という昨年並みの実績を示しています。個別にみると、県内金融機関やマスコミ関係、地域の生活を支える流通や製造業、団体や公務員へと幅広く就職しています。何年間かキャリア支援委員会の委員として活動してみて感じるのは、就職活動における行動とコミュニケーションの二つの力の大切さです。これら二つの力は、本学のキャリア支援プログラムに真剣に自ら取り組むことで、身につけることができます。

この二つの力をベースに、自分を信じて積極的に就職活動を続けた学生から順に内定が決まっています。在学生の皆さんも、キャリアプランニングを履修し、就職活動に必要な二つの力を身につけて新しい世界の扉を開いて下さい。

(塩谷 未知 キャリア支援委員長)

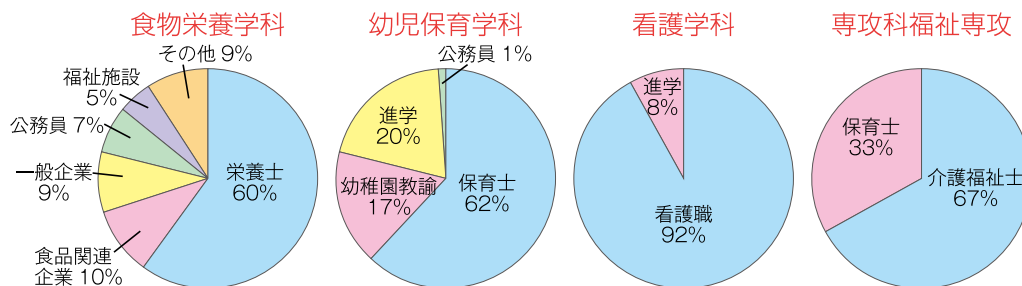


青森中央短期大学の状況

平成23年度当初は、震災による求人減の影響が心配されましたが、全体の就職率は98%に達しました。**食物栄養学科**では、栄養士60%（昨年度より22ポイント上昇）、食品関連企業も加えた専門職就職が70%という好成績を達成しました。栄養士の首都圏採用は13名であり、今後も重要な進路先になると思われますが、同時に、青森県内、北東北での求人開拓にも一層力を入れていく必要があります。**幼児保育学科**では、保育士・幼稚園教諭の合計が79%、専攻科福祉専攻への進学が20%でした。首都圏への就職は12%であり、昨年からさらに増加傾向にあります。**専攻科福祉専攻**の就職率は例年通りの100%であり、3年間で保育士・幼稚園教諭・介護福祉士の3つの資格を取得することの価値が年々高くなっていることを感じます。**看護学科**では、看護職としての就職が92%、編入学および進学が8%です。特に青森県内77%、東北圏内86%と、全国的に看護職の首都圏への人材流出が懸念される中で、十分に地元への貢献が果たせたと思います。

先輩の活躍をおおいに見習い、進路への目標が持てるよう、今年度も早期からの粘り強いキャリア支援を、保護者、教員、職員とともに続けて参ります。

(宮田 篤 キャリア支援委員長)

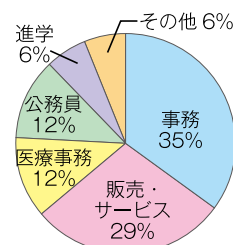


青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校の状況

震災後就職状況が厳しい中、目指す職種・地域を決めて就職活動を進めました。

青森中央経理専門学校では、平成23年度からの試みであった、ステップアップ方式の「学内就活検定」の効果もあり、市役所等の公務員合格者を出すことができました。医療事務コースについては今年度、医療事務コースの実習先≒求人先の開拓をより強化したいと思います。また、観光コンシェルジュコースは卒業年度となり、業界に一人でも多く就職できるよう努めていきます。**青森中央文化専門学校**では、1年次より本人・アドバイザー・キャリア支援センターと面談を重ね、本人の意識を確認、職場実習やインターンシップに参加することで職業の理解を深め、他の人に負けない得意分野を作ることが、就職活動への自信につながりました。

(キャリア担当：鈴木 伸吾・佐々木 美保子)



就職活動体験記

青森中央学院大学



本田 海輝 さん 東奥日報社

私の就職活動を振り返ると、ゼミの先生との二人三脚で掴み取った第一志望内定であったと思います。どんなことがあっても、マスコミ志望の夢を諦めなかったのは、ゼミの先生の親身なアドバイスと作文練習などの丁寧な指導があったからです。本当に感謝しています。就職活動をする上で基本となるのは、自分が本当にやりたいことが何であるのかを考えることだと思います。自分の未来は、自分が1番に考え、行動していかなければなりません。何をやるにしても、本人の意識以上の結果が出ることはないで、目的意識をはっきり持ち、有意義な毎日を送ってください。

青森中央短期大学



木村 圭吾 さん レバスト

私が就職活動を始めたのは2年生の5月でした。初めて就職先として興味を持った会社に、学校で学んだ食の知識を活かせると思い履歴書・エントリーシートを送りましたが、何の連絡もありませんでした。しかし、この苦い経験により精一杯自己PRを考えたり、自己理解を高めたことは、その後の活動に活かされました。次に受けた会社では、面接や、当日突然出された作文がありましたが、前回の経験を活かして試験に臨み、内定をもらいました。すぐに良い結果を出すことができなくても、失敗から学ぶことが大きかったと思っています。

青森中央経理専門学校



沢田 里菜 さん 指扇療養病院

私は埼玉県さいたま市にある指扇療養病院に医療事務として内定をもらいました。医療事務の仕事に就きたいと強く思っていたので、県内外問わず1年生のうちから様々な病院のリサーチを行いました。資格については、社会に出てから自分の力になるように基礎科目、医療系の科目問わず受験しました。そして、コミュニケーション能力を高めるため、授業の一環として取り組んでいた「就活検定」を積極的に受け、ハキハキと答えられる練習をし、面接当日は笑顔で臨みました。

青森中央学院大学



小山 恵未 さん 青森三菱ふそう自動車販売

就職活動をすれば、簡単に内定が頂けるだろうと安易な気持ちから始まった就職活動は、想像以上に難しく、心細く、心が折れそうなことが何度かありました。しかし、キャリア支援センターの方をはじめ、ゼミの先生など周りの人の支えがあって目標とする内定を頂けたことと、感謝しています。長い期間の就職活動を通して、どんなに苦しい場面でも感情をコントロールし、どんな場面でも笑顔で対応することが大切だということを一番に学びました。同じ時期を迎える後輩たちにも「人に優しくする！笑顔を心掛ける！」という意識を持って就職活動に励んで頂きたいと思っています。

青森中央短期大学



米谷 有紀子 さん 青森慈恵会病院

私は学外実習の中で、ここで働きたいと思える病院と出会い、試験を受け内定をもらいました。就職試験を受ける際には、先生方からアドバイスを頂いた他、キャリア支援センターで履歴書の指導などで気軽に相談できたことが、とても心強かったです。面接はとても緊張します。自信をもって質問に答えられるように、面接練習はきちんと行った方が良いです。3年生は実習と就職活動、看護研究、国家試験対策もあり、本当にあっという間です。でも、精一杯やれば必ず結果がついてくるので、自分を信じて頑張ってください。

青森中央文化専門学校



荒内 真美 さん つしま洋品店

私は2年次から就職活動を始め、夢だったファッションアドバイザーとして内定をもらいました。県内では求人数が少ないアパレル業界の販売職に就くために、自分のやりたいことのビジョンを明確にし、希望する企業を早めにピックアップしました。積極的にお店に足を運んで雰囲気確かめ、実際に企業で働いている先輩の話を聞き、就職試験時には自分の熱意を伝えました。面接の備えを万全にし、妥協せずに活動してよかったと思います。

青森中央学院大学

花田勝美新学長より学生へのメッセージ

「さざれ石（細石）から巖（いわお）へ」

本年4月1日、青森中央学院大学長を拝命しました。前職は弘前大学医学部附属病院院長です。医療の世界から一転して、経営法学部という教育の世界に飛び込んできました。しかし、不思議と違和感を覚えていません。今や病院の運営にも経営のセンスが求められ、診療にあつては医療法、老人福祉法、労働基準法など沢山の法律に囲まれており、この分野の重要性が認識されています。わが国で唯一の経営法学部からこれからも沢山の学生が幅広い世界に飛び立ってほしいものです。

さて、学園の卒業式、入学式では厳粛な雰囲気の中、「国歌斉唱」が行われました。子供のころから学校で歌い続けてきた国歌を新入生、教員が共に歌い、学びの場に帰ってきたことを改めて感じました。斉唱中、かつて、文部科学省の庭に飾られていた「さざれ石」のことを思い出しました。「君が代」はわずかミソヒトモジ（31文字）で出来ている世界で最も短い歌詞の国歌です。しかしながら、毎回「さざれ石～」と歌っても、理解している日本人は少ないように思われます。私もまたそのひとりでした。さざれ石を漢字では「細石」と書き、学術的には「石灰質角礫岩（かくれき岩）」とよばれます。もともと小さな石の意味で、長い年月をかけて石灰質の接着作用によって大きな岩の塊（巖）に変化したもので

花田勝美学長略歴

昭和50年3月	弘前大学大学院 医学研究科修了(医学博士)
昭和53年	弘前大学医学部講師
昭和62年	弘前大学医学部助教授
昭和63年	ハーバード大学医学部・ マサチューセッツ総合病院皮膚科 ウエルマン光医学研究所(研究員)
平成12年	弘前大学医学部皮膚科教授
平成18年	弘前大学医学部附属病院長
平成24年	青森中央学院大学学長



す。さらに年月を経て苔が生えるまでと、ともかく「永くあれ、永久にあれ」という願いを込めた歌詞です。全国の有名神社に祭られる所以です。ところが、海育ちであった私は小学生以来、「巖と（いわおと）なりて」を「岩音鳴りて」、すなわち、波が岩に当たって砕け散る時の音と解釈して数十年を過ごしてきました。

新入生の皆さんに対しては、今は小さな一個の「さざれ石」に過ぎませんが、いずれは大きな「巖」に成長してほしいと願っています。どんどん他の人を引き付けることのできる大きな人物になってほしいと願っています。ついでながら、私の友人にこの誤りを話したところ、われもわれもと誤解釈していたものが手を挙げ、幾分ホッとしました。初等教育の盲点であったかも知れません。反省です。

学位記授与式

3月17日、青森中央学院大学第11期生並びに同大学院第7期生の学位授与式が行われた。今年は、昨年急逝された中村信吾前学長に代わり石田憲久学長代行により学位記が授与された。日本を取り巻く経済状況にはなお厳しいものがある中で、大震災直後であった昨年よりは、今年は学生も保護者も精神的に落ち着いた環境を取り戻した。社会に出て行く学生諸子の顔からは勇気と希望も感じ取れた。

(小俣 勝治 学務委員長)



入学式

4月5日、青森中央学院大学第15期生及び同大学院第9期生の入学式が、新たにお迎えした花田勝美新学長のもとに執り行われた。今なお春遠しと思われる天候にもかかわらず、新入生は夢と希望に満ち溢れた表情で本学に登場してくれた。花田新学長による、現在の日本並びに本学が現在直面する諸事情を念頭においた式辞を受けて、新入生代表による逞しい宣誓が発せられた。今後の彼らの学園生活が実り豊かになることを約束するように。

続く4月6日は、岩木青少年スポーツセンター（弘前市）で、オリエンテーション・キャンプが実施された。(小俣 勝治 学務委員長)

国際交流センターより

青森空港ビルとの連携

1月24日、中国・杭州からチャーター便利用の中国人観光客に対する歓迎セレモニーにおいて、中国人留学生が、通訳ならびに青森のPR活動のサポートを行った。また、1月28日の帰国時には、免税店で県産品販売のサポートを行った。

青森県観光国際戦略局国際経済課との連携

2月10日、国際経済課、県内大学、企業が連携して実施している留学生人材活用推進事業の一環で、「中国市場開拓のための留学生試食会」が開催され、中国人留学生が県産品の試食・評価を行い、商品販売に役立つアドバイスをを行った。

JR 東日本青森商業開発との連携

2月から3月にかけて、中国と台湾の留学生が、JR東日本青森商業開発が運営しているA-FACTORY、ラビナ、あおもり旬味館、アプリーズのチラシや値札カードの中国語訳（簡体字・繁体字）に取り組んだ。

青森県農林水産部構造政策課との連携

平成21年度よりアジアからの修学旅行生等の受入拡大を目的として取り組んできた「アジアと結ぶ国際グリーン・ツーリズム協力員配置事業」が終了した。情報発信や受入体制作り、誘致活動を行いながら、WEBサイト「あおもり農業体験ガイド（日本語・英語・韓国語・中国語簡体字・中国語繁体字・タイ語の6言語版）」、「あおもり農業体験受入マニュアル」、「農村交流ハンドブック（英語・韓国語・中国語簡体字・中国語繁体字・タイ語の5言語版）」、「青森県グリーン・ツーリズムPRリーフレット（英語・韓国語・中国語簡体字・中国語繁体字・タイ語の5言語版）」、受入農家向け「おもてなし6言語会話ブック（日本語・英語・韓国語・中国語簡体字・中国語繁体字・タイ語の6言語版）」を完成させた他、3年間で台湾、タイ、香港から合計18団体299名の修学旅行生・観光客の誘致に成功した。

WEBサイト：<http://www.greentourism-aomori.jp/>

ゼミ探訪

Vol.22

森田学ゼミ

森田ゼミを紹介する。2年次ゼミでは日本経済の基本を学び、3年次ゼミでは『青森県社会経済白書』を通して、日本経済や地域経済について学んでいく。2年次ゼミでは将来、日本経済新聞の内容を理解できるように、テキストに『日本経済の基本』を使用し経済に関する用語の勉強をしていく。これは、横文字になると理解できなくなるといったような事態を避けるためでもある。3年次ゼミでは、『青森県社会経済白書』を自分たちの言葉でコンパクトにまとめる。この資料は170ページもある資料であるが、社会人になり働くようになった時、こういった作業に慣れておくといった狙いもあるそうだ。その上で卒論では、初めから最後まで自分で考えて文章を書く力をつけてほしいと期待している。ゼミ合宿や飲み会等は希望制ではあるが、今年はぜひ行いたいとのことである。

(学生記者：太田諭志
木村翔太・柳谷優衣)



OB 通信

拝啓 青森中央学院大学様

私は2006年に、青森中央学院大学の地域マネジメント研究科を修了し、現在は株式会社西田組環境部、バイオディーゼル燃料事業を担当しています。土木・建築・産業廃棄物処理等を業としている弊社では、地域環境及び地球環境の保全に貢献するため、リサイクル業に力を入れています。その中で、新規事業としてバイオディーゼル燃料事業を始めました。私は担当として在学中に得た地域マネジメントの知識を活かし、取り組みました。結果、地域住民の協力と理解を得て、現在弊社は青森市のバイオディーゼルのモデル事業にもなり、青森市のゴミ収集車を始め、6台の車両に使用されています。

後輩の皆さん、不況の中、就職活動など困難な現状が続いていると思いますが、在学中に得る「知識」や「人との繋がり」を大切にしてください。社会に出て必ず必要となると思います。

敬具

大学院1期生 伊東 英俊



青森中央短期大学

旅立ちを迎えて ― 卒業式・祝賀会

卒業式

3月15日、青森中央短期大学学位記・修了証書授与式が挙行された。保護者や在学生、教職員が見守る中、食物栄養学科60名、幼児保育学科90名、看護学科71名、専攻科福祉専攻23名の卒業生に対し、学長より学位記・修了証書が授与された。壇上にあがるその姿はとても堂々としており、本学での学びが充実し、自信となっていることが現れていた。本学で培った力は、将来出会うであろう様々な苦労や壁を乗り越え、さらに喜びへ変える大きな力となるはずである。卒業生がそれぞれの進んだ道で多いに活躍してくれることを期待してやまない。



卒業祝賀会

卒業式終了後、国際ホテルにて祝賀会を開催した。昨年は、東日本大震災により開催が叶わなかったという背景もあり、専攻科福祉専攻卒業生の北山亮次君が、実行委員長としてその想いを挨拶に込めた。余興では、一人ひとりの言葉を繋げたメッセージ、映像、ダンス、歌、色紙のプレゼントなどで、教職員や家族に対して感謝の気持ちを表現していた。旅立ちの日を迎え、美しく着飾った卒業生たちは、皆晴れ晴れとした表情で語り合い、笑い合い、そして最後に校歌を合唱して、明日から始まる社会人としての第一歩を踏み出した。



新たな出発 ― 入学式・オリエンテーション

4月4日、入学式が挙行され、新たに食物栄養学科75名、幼児保育学科105名、看護学科87名、専攻科福祉専攻17名の新生を迎えた。翌日からは新生活に向けた新生ガイダンスが実施された。

食物栄養学科

学科の教員による資格や履修の説明や、先輩達より、大学での学習方法や大学生活についてのアドバイスを受ける交流会を行った。先輩との交流を通して、新生は不安を解消し、充実した学生生活を送る準備が整ったようである。



幼児保育学科

不安と緊張で胸がいっぱいの中、入学オリエンテーションの一環として交流会が行われた。新生は、教員・先輩達との昼食や午後の部の

レクリエーションで、笑いが絶えない楽しい時間を共有した。新しいスタートにエールを！



看護学科

三田学科長より、看護師国家試験合格を目指して頑張ってもらいたいとの激励の言葉があった。さらに履修方法や学生としての心構えなどについて説明がなされると、皆真剣な面持ちで聞き、これから始まる新生活への決意を新たにした。



先生の自分史「出会いに感謝」

幼児保育学科 鈴木 寛康先生

今回、改めて今日まで自分が歩んできた道を振り返ると、素晴らしい出会いに支えられて今を生きていると感じます。



新社会人として勤務したホテルでは、社会人・ホテルマンとしての基礎を学びました。ナショナルトレーニングセンターJ-Villageでは、トルシエ監督をはじめ多くの方々から、こだわりを持って仕事をする面白さと妥協しない強い気持ちを持つことを学びました。研究員時代は、緻密な計画の下に実験し結果を得る面白さを、続いて勤務した短期大学では、様々な背景を持つ学生との関わりから、自分の未熟さを痛感させられました。そして、青森中央短期大学に赴任し、多くの人に支えられ、素敵な出会いをし、毎日笑顔で仕事に向かっています。これまで出会った人達に感謝し、これから私と出会う人の役に立つような生き方をしていきたいと思います。

読んで欲しいこの1冊

看護学科 玉熊 和子先生『悩む力』

姜尚中 著 (集英社, 2008)

彼の著書は、専門分野である政治学・政治思想に関連したものが多く、非常に批判的で、私には難解なものがほとんどです。しかし、この1冊は、現代の過酷な競争社会や格差社会を生きる若者に向けて、共に考えようという気持ちを前提にして書かれています。約100年前の漱石とウェーバーが、それぞれの「悩む力」を振り絞ってその時代の問題に向き合ってきたことや、著者自身の経験や考え方を交え、悩みながらどのように生きていくかのヒントが書かれています。

私が何度も興味深く読み返したところは、「第6章 何のために働くのか」でした。著者の言葉を借りると「人間というのは、自分が自分として生きるために働く」のだと。さて、皆さんはどうお考えでしょうか？お金のため、もちろんそれもありですね。それとも他に…。今、進むべき道を確認たるものにするために、是非ご一読されることをお勧めします。きっと、今の自分や、この先の何かが見えてくるでしょう。

研究室を訪ねて

～清多英羽研究室～

清多研究室では、保育思想や保育の歴史、「いのち」の教育などをテーマに特別研究を指導しています。例えば、モンテッソーリの保育思想を研究しながら、同時に恩物の作成をするなど、ただ文献研究だけでなく、実践的な側面も取り入れています。思想研究には、砂をかむような作業に耐える力が必要です。学生にとって「つらい」作業のようです。保育の確固たる信念をもつ人物とそうでない人物が10年間同じ職を務めた場合、明らかに前者の方が優れていると信じ、日々、学生指導をしています。



卒業生も活躍しています

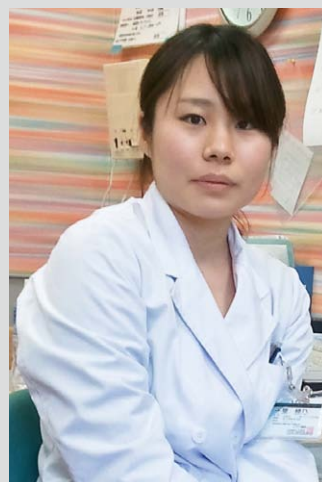
食物栄養学科38期生 千葉 綾乃さん

社会福祉法人仁生社 江戸川病院勤務

私は短大卒業後、十文字学園女子大学人間生活学部食物栄養学科の管理栄養士課程へ編入し、現在管理栄養士として勤務しています。

様々な業務のなかで、患者さんと接する栄養指導は特に難しいと感じています。生活背景や食習慣など一人ひとり全く違い、驚くことも多いです。きちんと伝えたとつもりが間違っって伝わってしまうこともありましたが、ただ、患者さんから前向きな発言があったり、数値が少しずつ良くなっているときはとても嬉しく感じます。

管理栄養士としてまだまだ未熟なため学ぶことの多い毎日ですが、日々成長していけるように頑張りたいと思います。



附属第一・第二・第三幼稚園 / 中央文化・浦町保育園

教育方針

—健康で明るく心豊かな子ども—

- 友達と仲良く遊ぶ。
- よく見、よく聞き、よく考える。
- 思ったことははっきり話す。
- 自分のことは自分でやる。

認定こども園附属第一幼稚園



〈入園式〉ご家族に祝福され、いろいろな表情が見られた喜びの風景です。



〈新園児のお部屋〉表紙の絵から絵本の楽しい世界へ引き込まれていきます。



〈完全給食〉年長児は自分の食べられる分量を盛りつけし、お兄さん、お姉さんになりました。

附属第二幼稚園



〈入園式〉新しいおともだちを迎えるために、在園児がチューリップの歌を堂々と披露しました。



〈給食タイム〉おいしい給食。焼きそば、シューマイ、スープ、ミカンで栄養満点。



〈自由遊びタイム〉思い思いの気持ちで、ブロックを組み立てて生き生きと時間を過ごしています。

認定こども園附属第三幼稚園



〈入園式〉きょうから幼稚園児です。ちょっぴりドキドキするけれど、だいじょうぶだよ！



〈春をさがそう〉年長さんのおさんぽです。北に帰る白鳥さんにも、電車の運転手さんにもバイバイしました。



〈認定こども園〉0・1・2歳のおともだちのお部屋がきれいにできました。遊びにきてね。

中央文化保育園



〈入園式〉新入園のおともだちを、みなでお祝いしました。みんななかよく元気に遊びましょうね。

浦町保育園



先生達活躍しています 第6回

「先生として親として」



認定こども園附属第一幼稚園

大西 寿志子先生

幼稚園教諭になって、今年で13年目になります。昨年度に続き、今年度も3歳児の担任になりました。自分にも子どもができたことで改めて、初めて幼稚園に出す親の不安な気持ちを深く考えることができました。自分だったら…と、自分と子どもに置き換え、考えるようにもなりました。不安な親の気持ちが少しでもなくなるように、幼稚園でのちょっとした出来事も伝えられるよう心がけています。

私に子どもがいても、こうして好きな仕事を続けていられるのは、周りの方々の支えがあったからこそだと感謝し、今年度もまた気持ちを新たに、園児たちに寄り添い、共に成長を喜び合いたいと思います。

「やりがいのある仕事」



認定こども園附属第三幼稚園

外崎 美砂子先生

幼稚園教諭になってこの春で6年目を迎えました。園生活では、毎日子どもたちと一緒に遊んだり新しい発見をしたり子どもたちも私も笑顔で溢れています。保育活動では、子どもの目線に立ち、私自身も子どもと一緒に楽しみ、興味関心を引けるような内容を考えています。また、成長の瞬間を見た時にはとてもやりがいのある仕事だと感じます。

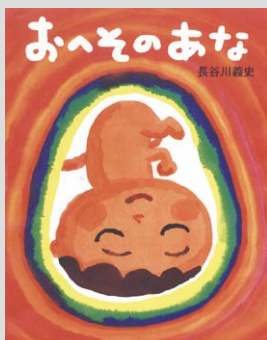
時には辛いことや悩むこともありますが、子どもたちの「先生大好き!」という言葉や「ありがとう」の手紙で励まされ、頑張ろうと思います。

今年度から年少組の担任をすることになりました。子どもたちの成長を一番に感じる年少さんたちと一緒に私も学び成長できるように精一杯頑張っていきます。

読み聞かせたい一冊の絵本

浦町保育園 **町田 美智子**先生『おへそのあな』
長谷川義史 作・絵 (BL出版,2006)

お母さんのお腹の中にいるちいさなちいさな赤ちゃん。でも、おへそのあなからいろいろなものが逆さまに見えています。赤ちゃんのためにロボットを作ってくれているお兄ちゃん。赤ちゃんが産まれる頃に咲くように花の世話をしているお姉ちゃん。赤ちゃんのために歌を作っているお父さん。ご飯のにおいやみんなのお話している声、全部あなから感じています。そして、いよいよ家族の待っているところへ…。お腹の赤ちゃんは産まれてくるまでにたくさんの声や音を聞いて大きくなっていきます。待っている家族も喜びや楽しみ、期待がふくらんでいきます。思わずニッコリ笑顔になってしまう一冊です。



卒園児頑張っています

附属第二幼稚園卒園 **原子 彩加**さん



三内中学校1年、原子彩加です。私はピアノが大好きです。年中から始め、今年で9年目です。忙しくても毎日練習を続けています。卒業式では伴奏を担当し、思い出に残る式になりました。

学校ではバスケットボール部に入っています。試合の中で幼稚園の頃に学んだ仲間の大切さを深く感じました。部活には幼稚園からの友達もいて、みんな明るく頑張り屋です。他にも同じ時に卒園した友達とは今でもとても仲良しです。これは先生方が友達を作りやすく楽しく遊べる環境を作ってくれたおかげだと思います。友達を大切にすること、ピアノやバスケを頑張り続けること、全ては幼稚園で教えてもらいました。

中学校に入学して今は不安なことも多いですが、勉強や部活動、ピアノ等両立させたいです。在園児のみなさんもたくさん遊んで、たくさんお友達を作って楽しく過ごしてください。

青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

卒業証書授与式

3月18日、平成23年度卒業証書授与式が行われた。卒業生を代表して青森中央経理専門学校の成田真平さんが、東日本大震災から1年を経過し、大変な1年間だったと振り返り、無事に卒業式を挙行できることに感謝の意を表した。また、2年間で学んだ知識をこれからは自信に変えて頑張りますと述べ、夢に向かっての第一歩を踏み出した。

式では、青森中央経理専門学校経理情報科、青森中央文化専門学校トータルファッション科の卒業生へ、石田校長、久保校長から一人ひとりに卒業証書が授与された。



自分の未来像



青森中央経理専門学校 1年
鎌田 達也さん

私は、高校に進学するまではこれといった夢がなく、勉強にもあまり積極的に取り組めませんでした。しかし、高校に入学し、初めて簿記という科目に触れ、もっと深く学びたいと思い、高校で全商簿記検定1級、日商簿記検定2級を取得しました。資格を取得してから、簿記の知識が活かせる職業に就きたいと次第に興味が出てきました。その中でも特に、私たちの生活に密接に関わる税金についての知識を多く持ち、その上で税金についての相談も受けてくれる「税理士」という職業にとっても魅力を感じ、将来は税理士になりたいと思いました。しかし私には専門的知識が足りないの、専門的知識を深められる青森中央経理専門学校へ進学を決意しました。簿記の授業は習熟度別のクラスで、先生との距離も近いので分からない所は直ぐに聞けます。一歩ずつ夢を叶えていきたいと思っています。

入学式・オリエンテーション

4月7日、入学式が挙行された。新入生を代表し、青森中央経理専門学校 伊藤望さんが、「建学の精神の下、学べることに感謝をしながら勉学に励みます」と決意を述べた。

4月9日・10日には、オリエンテーションを実施し、互いに交流を深めながらケーススタディでグループワークを楽しんだ。さらに、10日には、日本FP協会青森支部から講師を招き、「学生時代にしておくべきこと」について話してもらった。充実した2日間を通して、学生は将来の目標に向かっての決意を固めた。



進級者の意気込み



青森中央文化専門学校 2年
溝江 まみさん

青森中央文化専門学校に入学してから、時間の流れが本当に早く、あっという間に二年目を迎えました。周囲の人たちのおかげで充実した毎日を送っています。

技術や知識は少しずつ身に付いてきていると思いますが、提出物を期限内に出せなかったり、集中力不足だったり、去年は圧倒的に反省点の方が多いように感じています。残り一年で、自分の甘い部分を直したいです。また、学校行事は勿論、外部での活動にも積極的に取り組んでもっと視野を広げたいです。そして「自分が自信を持ってアピール出来ること」を何か一つでも見つけ、就職活動に活かせたらと思います。

きっと今年度は更に短く感じる一年になると思うので、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

経理発信情報 Vol. 4～観光コンシェルジュコース職場体験～

1月10日、青森市民の台所である青森魚菜センター古川市場で、「のっけ丼」インフォメーションの職場体験を行った。のっけ丼は、市場内を巡り青森ならではの食材で自分好みの丼を作る、市場の目玉商品である。当日も県内外から訪れた観光客がのっけ丼作りに挑戦し、好評を博していた。実習では、お店の人から旬の魚について教わり、実際に観光客との会話で役立てた。また、青森商工会議所から市場周辺のおすすめの店や、地元青森に住んでいても分からなかった名店なども教えてもらい、青森を訪れた方々へのガイドに役立てた。



おススメ図書 vol.4

青森中央経理専門学校 鈴木 伸吾先生
『溝畑流・日本列島観光論 逆転こそ、Nippon!』
溝畑 宏著（講談社、2011）

名前だけでわかる方もいらっしゃると思いますが、表紙を見れば、「最近テレビで見たお顔」と思われるはずです。観光庁長官としては初の著作とのことです。

東日本大震災以降、人と人がふれ合う心の産業である観光こそが復興の支えとなると、観光のトップ・日本の営業マンとして自ら動き悪戦苦闘する日々をまとめています。

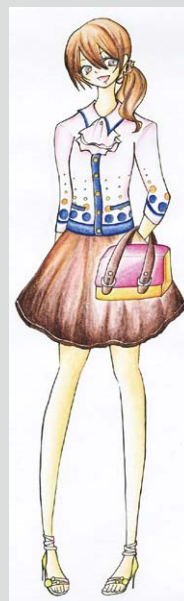
老若男女を問わず、誰もが関われる観光は、日本の今後を牽引していく産業のひとつであり、「こんなときだからこそ目線を上げて攻めよう」という言葉は、まさに今の私達を応援する言葉に聞こえてきます。観光業界向けというよりは、あきらめない精神など熱が伝わってくる1冊なので、就職活動で頑張っている学生にも刺激を与えられると思います。

ファッション通信 vol.4

【2012 春夏 ミニスカート】

今季のキーアイテムはふんわりシルエットのミニスカートで決まり。フェミニンな着こなしに最適な花柄などのスカートは、可愛くも品の良いレトロ感の演出のポイント。ベーシックアイテムで品良く装い、セットアップのような組み合わせを意識するとよい。トップスにはフリルやレース使いなどのロマンチックなディテールをプラスし、ボウタイで人気のクラシックなジャボを組み合わせると好感度アップ。色はフレッシュで清潔感のある配色を意識すると、いまどきの抜け感が際立つ。

※ジャボ：胸元につけるフリル状の襟のこと



（デザイン画 青森中央文化専門学校2年 福井 舞）

卒業生ピックアップ No.17

青森中央文化専門学校 平成21年度卒業
PAGEBOY 青森アウガ店勤務 今 綾香さん

小さい頃から洋服が好きで、アパレル関係の仕事に就きたいという夢を叶える為、青森中央文化専門学校で学びました。初めはファッションアドバイザーとして、お客様の好みに合ったコーディネート提案や的確なアドバイスが上手くできず、悩みましたが、学校で学んだ知識を活かし、今ではとても楽しくやっています。大変なこともあります。自分で選んだ道なのでこれからも頑張ります。皆さんも、常に目標に向かい、沢山チャレンジして欲しいです。



新教職員紹介

- ① 職位・氏名
- ② 出身
- ③ 担当
- ④ 抱負

青森中央学院大学



- ①学長・教授 花田 勝美（はなだ かつみ）
- ②青森県
- ③生命の科学
- ④新任の学長です。朝のあいさつは自分の元気を伝えるもの。良い友達喜びを2倍に、悲しみを半分にしてくれるもの。充実した学園生活を。



- ①教授 吉原 正彦（よしはら まさひこ）
- ②新潟県
- ③経営学概論、経営戦略論、経営組織論、専門演習
- ④学生諸君の一人ひとりが、“キラリ”と輝く。そのために、それぞれの個性に添った学びを導き、支援します。



- ①専任講師 寺井 里沙（てらい りさ）
- ②香川県
- ③会社法、有価証券法
- ④学生たちが自分の力で未来を切り拓いていけるよう尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いします。

事務局



- ①對馬 眞理子（つしま まりこ）
- ②青森県
- ③総務課
- ④学校法人という新たなステージで、学生・教職員の皆様の力になれるよう日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。



- ①相内 英人（あいうち ひでと）
- ②青森県
- ③総務課・管理
- ④総務課管理として、学園内の環境の美化に努めたいと思います。



- ①葛西 智隆（かさい ともたか）
- ②青森県
- ③総務課
- ④この度ご縁がございまして、お世話になる事となりました。学園の皆様方に精神誠意、ご奉仕申しあげます。何卒宜しくお願いします。



- ①パラポン・ナパッタラモン
- ②タイ
- ③国際交流課
- ④GreenTourismを中心に世界中と東南アジアで青森のことを紹介したいと思っています。一生懸命頑張ります。



- ①寺山 由佳（てらやま ゆか）
- ②青森県
- ③学務課
- ④私の大好きな言葉は「一期一会」です。一瞬一瞬の出逢いを大切に、一生懸命取り組みたいと思います。よろしくお願いいたします。



- ①坂本 貴行（さかもと たかゆき）
- ②青森県
- ③学務課
- ④覚えなければならないことがたくさんあり、毎日が大変ではありますが、一生懸命頑張りたいと思います。



- ①佐々木 徹（ささき とおる）
- ②青森県
- ③教育開発推進課
- ④本学の皆様に頼りにしていただける存在になれるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



- ①山口 訓史（やまぐち のりふみ）
- ②青森県
- ③教育開発推進課
- ④分からないことばかりでご迷惑をおかけすると思いますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。



- ①千葉 幾子（ちば いくこ）
- ②青森県
- ③健康管理室
- ④長い間、小・中学校で養護教諭をしていました。その時代の学生に声をかけられました。嬉しかったです！種々の「出会い」を期待して頑張っていこうと思っています。



- ①山本 えり（やまもと えり）
- ②青森県
- ③あおり食育サポーター事務局
- ④青森県内の食育活動の支援や広報活動を行っています。一回一回の活動を大切に、自分自身も食に関する知識を身につけていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



- ①澤田 文子（さわだ ふみこ）
- ②青森県
- ③入試広報課
- ④効率的な広報活動に貢献できるように精進していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

青森中央短期大学

食物栄養学科



- ①助教 森山 洋美（もりやま ひろみ）
- ②青森県
- ③食育事業
- ④青森県全域で食育活動を行います。『食育＝青森中央短期大学』と地域の皆様に言っていただけるよう頑張ります。



- ①助手 樽澤 禎子（たるさわ よしこ）
- ②青森県
- ③食品学基礎実験、臨床栄養学実験、食品衛生学実験
- ④学生の皆さんが興味を持って勉学に励めるようサポートしていこうと思っています。よろしくお願いします。

看護学科



- ①専任講師 松島 正起（まつしま まさき）
- ②静岡県
- ③看護学科、基礎看護学
- ④教員生活も雪国生活も初めてで毎日驚くことばかりです。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

幼児保育学科



- ①専任講師 丸岡 慎一（まるおか しんいち）
- ②神奈川県
- ③造形表現法、児童文化Ⅱ
- ④専門の絵本制作・研究だけではなく、地域活性などにも幅広く関わっていきたくと思っています。ご指導のほどよろしくお願い致します。



- ①専任講師 伊藤 弓月（いとう ゆづき）
- ②神奈川県
- ③社会福祉領域科目
- ④着任早々、雪の量や寒さの洗礼を受けましたが、逆に青森の人の温かさを強く感じた次第です。皆様どうぞよろしくお願い致します。



- ①助手 立崎 博則（たちさき ひろり）
- ②青森県
- ③実習関係
- ④これまで、人体彫刻を中心に世界の関係性を研究してきました。これからは、教育という関わり方での関係性をみれたらと思います。

幼稚園・保育園

認定こども園青森中央短期大学附属第一幼稚園



- ①工藤 朗詠（くどう あきえ）
- ②青森県
- ③5歳児きく組
- ④子どもたちと共に元気いっぱい、笑顔あふれる毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。よろしくお願いします。



- ①田中 ちえみ（たなか ちえみ）
- ②青森県
- ③第一ばんびくらぶ
- ④子ども一人ひとりに合った保育をするために、少しでも早く仕事を覚え、日々成長できるよう頑張りたいです。



- ①齋藤 明日美（さいとう あすみ）
- ②秋田県
- ③第一ばんびくらぶ
- ④子どもが大好きで、私自身も一児の母です。子育て経験を生かし、楽しく保育していきたいです。よろしくお願いします。

認定こども園青森中央短期大学附属第三幼稚園



- ①木村 尚子（きむら しょうこ）
- ②青森県
- ③第三ばんびくらぶ
- ④子どもたちの気持ちに寄り添いながら、ゆったりと安心して過ごせる環境を作っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



- ①工藤 美華（くどう ふみか）
- ②青森県
- ③第三ばんびくらぶ
- ④たくさん子どもたちとにこにこ楽しい毎日を過ごしていきたいと思っています。周りの先生方のようになれるように頑張りたいです。よろしくお願いします。

中央文化保育園



- ①山上 由美子（やまがみ ゆみこ）
- ②宮城県
- ③2才児こりす組
- ④1日でも早く保育園に慣れ、子どもたちが毎日を笑顔で明るく過ごすことのできるよう、関わっていきたくと思っています。

青森中央短期大学附属第二幼稚園



- ①館山 弥志（たてやま ひろし）
- ②青森県
- ③年長児うめ組
- ④私は保育者としてまだまだ未熟ですが、子どもたちには保育の中で運動をたくさん取り入れ、体を動かす楽しさを経験させていきたいと思っています。

浦町保育園



- ①山内 豪士（やまうち たけひと）
- ②青森県
- ③3・4・5才児フリー担任
- ④子どもたちと遊び・学びを通して共に成長し、喜怒哀楽を共有できる保育を心掛けること、また現場の先生方から沢山のことを学び、チームワークを大切に頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

学園共通

学園感謝祭&世界一大きな絵

2月8日、学術交流会館にて、青森田中学園学園感謝祭が行われた。感謝祭では青森中央文化専門学校をはじめ学園の各施設で使用された古針やパソコン、おもちゃ等に対して技術向上の祈りと感謝の気持ちを込めて供養した。

また、Earth Identity Projectが進めている、「世界一大きな絵2012」青森県版も同会場で披露された。これは世界の子どもたちが、国や宗教・人種を越えて一枚の「世界一大きな絵」を完成させることにより、共通の喜びを分かち合い、情操を育み、世界平和に対する意識を育てていくことを目的としている。キャンバスとなる布に子供たちが自由に描いたこの大きな絵は、2012年8月に開催されるロン



ドンオリンピックで各都道府県、さらには各国の一枚一枚全てを繋ぎ合わせることで、国境のない一枚の大きな絵として完成する。青森県版は、青森中央短期大学附属第一幼稚園、第二幼稚園、第三幼稚園、中央文化保育園、浦町保育園の150名の園児が昨年11月25日に作成した。子供たちの希望溢れる大きなキャンバスに、会場から大きな拍手が沸いた。



被災地ボランティア

青森市内の大学・短期大学で構成する青森地域大学間連携協議会主催の被災地支援合同ボランティアとして、2月24日、学院大生・短大生が岩手県宮古市でボランティア活動を行った。前日夜に出発し、車中泊で現地へ向かう強行スケジュールであったが、留学生を含め多くの学生が参加し、仮設住宅で避難者の慰問活動等を行った。被災地ではまだ多くのボランティアを必要としている。本学園は、今後も被災地支援活動を継続し、現地での活動ボランティアを含め様々な活動を行う予定である。ぜひ多くの学生に参加してほしい。

※宮古市への被災地ボランティア・ツアーを定期的に計画。参加希望者は、学習支援センターまで。



幼稚園型認定こども園設置

大学の学校法人として県内初

近年、急速な少子化の進行や、家庭を取り巻く環境の変化に伴い、多様な子育て支援制度が整いつつある。本学園では4月1日より、青森中央短期大学附属第一幼稚園・第三幼稚園が認定こども園として認定された。この制度は、国の施策として平成18年10月よりスタートしたもので、財政面での援助が得られない中、本園は大学学校法人として県内初の認定を受けた。

今後は、就労の有無に関わらず預けられる施設として、また、教育・保育活動の充実、保育時間の柔軟な対応、子育て支援の機能を十分に発揮していく。さらに、子どもの育ちを支える父母、祖父母、さらには地域の子育て力が高まるよう全面的に支援をしていくことも目的の1つとする。利用者に高い評価をもらえるよう職員一同努力する所存である。多くの市民に利用してもらえるよう願っている。

認定こども園青森中央短期大学附属第一幼稚園
第一ばんびくらぶ 017-764-2600
認定こども園青森中央短期大学附属第三幼稚園
第三ばんびくらぶ 017-726-2112

FRIENDLY WINDOW から

しかけ絵本展・読み聞かせ

1月5～31日、本学図書館情報センター主催による「しかけ絵本展」を開催し、本学図書館所蔵のしかけ絵本を対象年齢ごとに分けて展示し、好評を博した。

また、この展示に合わせて、1月21日には青森中央短期大学読み聞かせサークルが「読み聞かせの会」を開催し、「大型絵本の読み聞かせ」「エプロンシアター・おおかみと七匹のこやぎ」「パネルシアター」「折り紙」を披露した。2年生にとっては、最後の活動となり、参加した子どもたちと楽しい時間を過ごした。



市民セミナー「ジョン・イングと津軽」

1月27日、サテライトキャンパスで青森中央短期大学 北原かな子教授を講師に、市民セミナー「ジョン・イングと津軽」を開講した。ジョン・イングは東奥義塾に英語教師として招聘されたアメリカ人宣教師で、弘前教会の設立に関わったほか、リンゴを日本に紹介したことでも知られている。このセミナーは、従来の大学内での公開講座の参加者から開講希望が多かった青森の歴史や文化をテーマとして実現されたもので、一般市民を対象としたセミナー形式で行った。好評を博したので、今年度新たに5回シリーズでスタートを予定している。次回の実践についてはp19を参照されたい。



ソーシャル・ビジネスによる地域活性化セミナー

FRIENDLY WINDOWでは、地域が抱える様々な課題の解決に多面的に取り組む地域活性化の拠点を目指している。その一環として、定期的に地域活性化関連セミナーを開催し、この活動を通して、地域活性化の志を地域住民と共有し、共に地域社会の課題解決や地域活性化に取り組んでいる。

3月に開催したワークショップでは、具体的な事例を取り上げながら、ソーシャル・ビジネスについてわかりやすく解説し、その後、参加者はそれぞれが関心を持った課題の解決案を考え、他の参加者の前で発表し合った。また、他の参加者から得られたコメントやアドバイスを参考に、さらに実践に向けたプランを検討した。今後のワークショップで、さらにプランをブラッシュアップし、実践に近づけていくことになるであろう。

途中参加が可能であるので、さらに多くの参加を期待したい。

青森中央文化専門学校によるファッションショップ OPEN

青森中央文化専門学校は3月1～17日まで、期間限定ショップ「キャトル」をオープンした。企画やレイアウトなど全て学生の手で作り上げたこのショップは、1Fスペースで在校生・卒業生が制作したオリジナル商品の展示・販売とカフェの運営を、2Fスペースでは昨年12月にアウガで行われた「Bunka Fashion Live 2011」で発表した衣装の展示・ライブ映像の放映が行われた。学生は授業で学んだ接客の仕方を活かし、来店客に好評を博した。今回の経験を通して、学生たちは夢であるファッションアドバイザーへの決意を新たにするとともに自信を得たことだろう。



インフォメーション

学習支援センターより

学生証・教員証ICカード化

平成24年度より、学生証、教員証、職員証をすべてICカード化した。県内の大学で初めての試みとなる。このICカードはFeliCa規格のFCFキャンパスカードを採用し、電子マネーが搭載され、学生・教職員の利便性が高められている。また、これまでの紙製の学生証に比べ、耐久性が向上している。

4月現在の学内利用箇所は、一部学生会館の出入口をはじめ、図書館の入退館ゲート、図書館の図書自動貸出機、カフェテリア・購買での決済、一部自動販売機の決済となっている。FCFキャンパスカードの特徴は、利用箇所を容易に追加できることにあるため、学生・教職員の学内における利用環境をさらに改善すべく、出欠管理、教室への入退室管理、駐車場管理など、利用箇所の拡張についても今後検討をしていきたい。

教員免許更新講習

平成21年4月より、教員免許更新制が導入された。本学園ではこの制度を受けて、地域の高等教育機関と連携をとりながら、各設置校の特色を生かした教員免許更新講習を実施している。今年度の講習日程・内容については以下の通りである。不明な点は、県教育委員会へ問い合わせ願いたい。

【開講一覧】

主催：青森中央学院大学 受講者募集期間：4月1日～7月13日
時間数：6時間 時間：9時～17時40分 対象職種：小・中・高等学校教諭

■8月3日（金） しなやかに、賢く生きるための人間力・Human strengthの発達と教育

■8月6日（月） しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成（Ⅰ）―「労働」を鍵概念として―

■8月7日（火） しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成（Ⅱ）―「消費者」を鍵概念として―

■8月8日（水） しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成（Ⅲ）―「企業」を鍵概念として―

主催：青森中央短期大学 受講者募集期間：4月1日～7月31日
時間数：6時間 時間：9時～17時30分

■8月6日（月） 学校教育における「いのちの教育」の原理的なあり方について 対象職種：小・中・高等学校教諭

■8月8日（水） 食育カリキュラム作りの実際
対象職種：小・中・高等学校教諭、養護教諭

青森中央学院大学公開授業「現代社会論」

青森中央学院大学では、前期に公開授業として「現代社会論」を開講している。今年度は「**変化の続く現代社会の位相図**」のテーマで、明日の日本を考える基点として、様々な側面から現代社会の諸像をオムニバス形式で追っている。今の日本社会をどのように認識していくべきか、その答えは無限大にあると同時に、見失ってはならない重要なポイントも存在する。本講義では未来を見通す力を養うため、そのきっかけとなる出発点を提供していきたいと考えている。各回は独立した話題となっているため、ぜひ興味のある講義に参加してみしてほしい。

【今後の開講予定】

会場：青森中央学院大学学術交流会館 時間：16：10～17：40

日 程	テーマ	講 師
5月24日（木）	青森県の経済動向と大震災後の行方	平出 道雄
5月31日（木）	1票の価値格差の拡大	木村 良一
6月 7日（木）	変容する大学教育…教育心理学の視点から	丹道 進
6月14日（木）	民主主義は再生するか？ ―混迷する日本社会のシステムをいかに再構築するか	鈴木 克成
6月21日（木）	人口減少時代における地方都市の都市構造のあり方について	森田 学
6月28日（木）	日本人に課せられたグローバルコミュニケーション力	加藤 澄
7月 5日（木）	ソーシャルメディアが現代社会に与える影響	新免 圭介
7月12日（木）	現代社会における企業の社会的責任	藤田 正一
7月19日（木）	企業社会のガバナンス…市民訴訟の規制機能	椎名 智彦
7月26日（木）	若者の雇用問題…何故、新卒就業が難しいか…	尾崎 正利

前期開催行事案内

青森中央学院大学サテライトキャンパス FRIENDLY WINDOW

青森市新町2丁目7-13(新町通り柳町交差点)

オープン時間 11:30~19:00 開館日 月・火・木・金・土(祝日を除く)

●青森中央文化専門学校公開講座

日 程	内 容	対 象
6月18日(月)	13:00~15:00 ワンポイントソーイング ポケット付け	一般
7月23日(月)	13:00~15:00 カンタンシリーズ オリジナルペイント(連続講座)	一般
8月20日(月)	13:00~15:00 シルクスクリーンを使用してペイント①②	一般
9月24日(月)	13:00~15:00 カンタンシリーズ コサージュ作り	一般

●FRIENDLY WINDOW 市民セミナー

日 程	内 容	講 師
6月 1日(金)	近代の青森	青森県史編纂室 中園 裕 氏
6月15日(金)	お雇い外国人と留学生	青森中央短期大学 北原 かな子
6月29日(金)	3・11 と資料保全問題	青森県史調査研究員 川内 淳史 氏
7月13日(金)	合浦公園の歴史	青森県史調査研究員 中園 美穂 氏
7月28日(土)	ねぶたのはなし	元青森県郷土館 成田 敏 氏

青森中央学院大学・青森中央学院大学大学院

●市町村長リレートーク

会場:学術交流会館

日 程	テーマ	講 師
6月27日(水)	13:00~14:20	弘前市長 葛西 憲之 氏
7月 4日(水)	13:00~14:20	福島県鏡石町長 遠藤 栄作 氏
7月11日(水)	13:00~14:20	おいらせ町長 成田 隆 氏

青森中央短期大学

●公開講座 Slow ~心と身体のやすらぐ時間~

日 程	テーマ	講 師	会 場
9月29日(土)	10:00~12:00 アロマテラピー フットバス&一人のできるフットマッサージ	村山志津子	7号館5階実習室
10月13日(土)	10:00~12:30 バスタマシーンを使って手打ちうどんを作ろう!	浜中幸美	1号館2階調理室
10月27日(土)	13:00~14:20 心をほぐす癒しのヨガ	ヨガ 小俣真紀 氏 ピアノ 前田美樹	学術交流会館2階

青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

●公開講座

会場:学術交流会館 934教室

日 程	内 容	対 象
7月21日(土)	13:00~15:00 親子で作る ティッシュペーパーカバー	幼児・保護者
8月18日(土)	13:00~15:00 夏休み 自由研究	小学生

●検定試験対策講座

会場:学術交流会館934教室

日 程	内 容	対 象
6月27日(水)~11月14日(水) 毎週水曜日 16:10~17:40	日商簿記検定3級(11/18実施)試験対策講座(全18回) ※但し8月15日、22日、29日は除く	一般・本学園生

オープンキャンパス

日 程	内 容	実施校	対 象
6月 9日(土)	13:00~16:00	青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校	中学生 高校生 保護者
7月 7日(土)	13:00~16:00	青森中央学院大学・青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校	
8月 7日(火)	13:00~16:00	青森中央学院大学・青森中央短期大学・青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校	
10月 6日(土)	13:00~16:00	青森中央学院大学・青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校	

学校見学会

日 程	実施校	対 象
9月15日(土)	13:00~15:00 青森中央学院大学・青森中央短期大学	中学生 高校生 保護者
9月16日(日)	13:00~15:00 青森中央学院大学・青森中央短期大学	
10月 6日(土)	13:00~16:00 青森中央短期大学	



「こぶしの花」掲載写真募集！

こぶしの花編集委員会では、「こぶしの花」（表紙）に掲載することを目的に、写真作品を募集しています。現在、10月発行予定の85号表紙掲載写真を募集中です。学園内の風景を題材に、皆さんの力作をお待ちしています。

■85号応募締め切り：7月30日

■応募先メールアドレス：kobushiphoto@aomoricgu.ac.jp

※応募の際、メールの表題には「こぶしの花写真応募」、メール本文には「学部学科・学籍番号・氏名・（電話番号）」を記入してください。

※本応募は、投稿の資格は青森田中学園在学生在が撮影した未発表作品に限ります。

※本応募に関するご質問等は、こぶしの花編集委員会までお問合せ下さい。

お問合せ先：kobushiphoto@aomoricgu.ac.jp



携帯から応募の際は
コチラをご利用下さい

青森田中学園報「こぶしの花」第84号

発行日：2012. 5. 15

発行：学校法人 青森田中学園

〒030-0132 青森市横内字神田12

TEL：017-728-0131

FAX：017-738-8333

<http://www.aomoricgu.ac.jp>

<http://www.chutan.ac.jp>

「こぶしの花」編集委員

編集長

加藤 澄
北原かな子
坪谷 輝子
八木橋ひろみ
中田 尋美

佐藤 紋子
赤坂 敦子
高橋 晴美

学生記者

太田 諭志	木村 翔太	佐藤 祐貴
柳谷 優衣	高谷いずみ	田中千香子
栗谷 絵梨	野宮 健太	